

旭丘・小竹地域における 小中一貫教育校について

令和3年1月

練馬区教育委員会事務局
教育振興部 教育施策課・学校施設課

目次

1 練馬区の小中一貫教育の取組

- 小中連携グループと施設一体型小中一貫教育校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 新校の開校に向けたこれまでの検討経過

- これまでの検討経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

3 新校の開校に向けた準備等について

- 新校の改築スケジュール（想定）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 新校の教育活動の検討について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 旭丘・小竹地域における小中連携の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

4 新校の開校に向けた検討状況等（施設面）

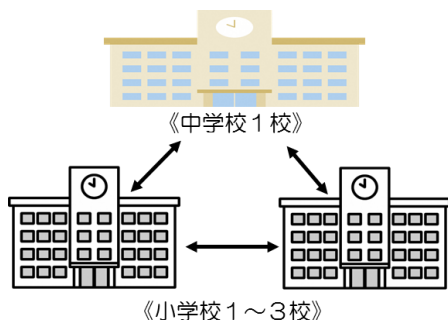
- これまでの推進委員会や地域説明会等の主な意見・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 新校の施設配置イメージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

5 新校の開校に向けた検討状況等（教育活動）

- 9年間を見越した教育活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- その他・・ 11

1 練馬区の小中一貫教育の取組

【小中連携グループ】



全校で実施

- ・学校ごとに校長・副校長
- ・修業年限は小学校 6 年、中学校 3 年

【施設一体型】



大泉桜学園（平成23年 4 月開校）

- ・校長 1 名、副校長 3 名
- ・修業年限 9 年（前期 6 年、後期 3 年）

小中一貫教育の効果

- 9 年間（1 年生～9 年生）を見越した教育課程による学習指導および生活指導の充実
- 幅広い異年齢集団による豊かな人間性・社会性の育成
- 小学校から中学校への円滑な移行による安定した学校生活

施設一体型では「教員間の連携強化による指導の充実」「異学年交流の活性化」「同一施設内での小学校から中学校への円滑な移行」等が可能となり、より高い教育効果が期待できる。



練馬区で 2 校目となる施設一体型小中一貫教育校を旭丘・小竹地域に開校

2 新校の開校に向けたこれまでの検討経過

令和元年度

[10月] 小中一貫教育校推進委員会（※）を設置（計4回開催）

※ 保護者や地域の代表および学校長等で構成。以下「推進委員会」という。

[12月] 地域説明会（保護者および学区内の地域の方を対象）の開催

元年度の主な内容：施設一体型小中一貫教育校における体制、新校の施設整備について など

令和2年度

[7月] 推進委員会の開催（計3回予定）

主な内容：新校の改築の基本的な考え方、今後の教育活動の検討について など

[1月] 本資料において、現在の検討状況等（施設面・教育活動）を報告

引き続き、地域や学校からのご意見を伺いながら、新校の開校に向けた準備を実施

【区ホームページへの掲載】

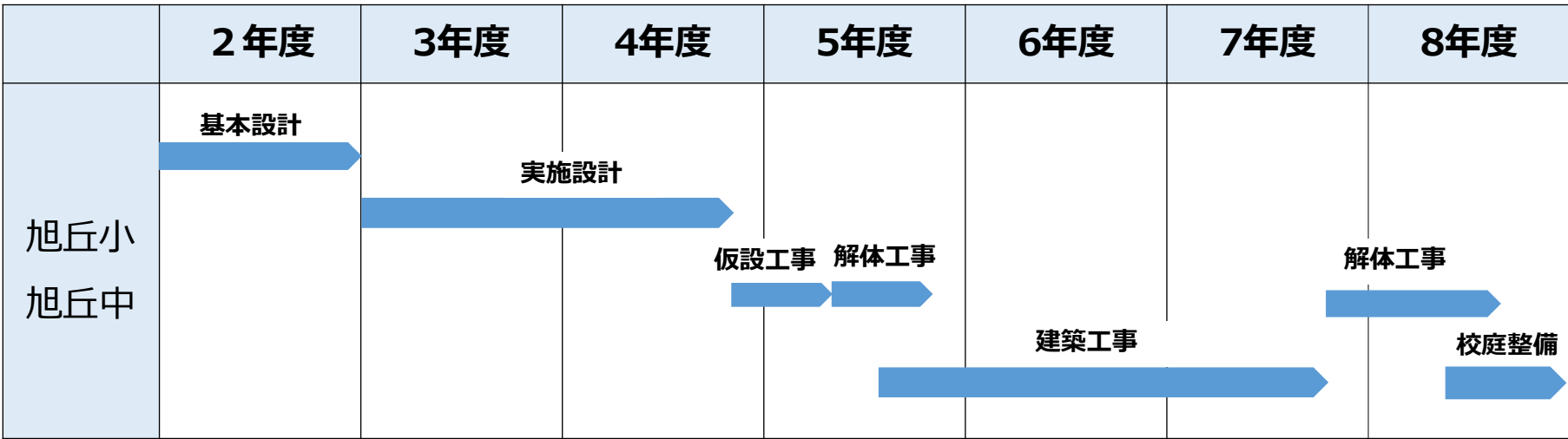
これまでの推進委員会および地域説明会の主な内容等については、下記に掲載しています。

練馬区ホームページ > 子育て・教育 > 教育 > 学校教育・施設 > 小中一貫教育の推進 >

施設一体型小中一貫教育校 > 現在進めている取組（旭丘・小竹地域における新たな小中一貫教育校）

3 新校の開校に向けた準備等について

新校の改築スケジュール（想定）



※ 上記スケジュールは、検討段階のものであり、今後変更となる場合があります。
開校年度見込については、設計等の状況に応じて改めてお示しします。

新校の教育活動の検討について

【開校までに検討が必要な事項等】

- 教育内容（教育目標、教育課程、教育活動等に関すること）
- 学校経営（校務分掌、学校生活、学校行事等に関すること）
- その他（標準服、校章・校歌等に関すること）

☞ 旭丘・小竹地域の保護者や地域・学校関係者とともに、開校に向けて順次、検討を開始

3 新校の開校に向けた準備等について

《参考：旭丘・小竹地域における小中連携の取組》

様々な交流活動

- 中学校生徒会による中学校説明会、小学生の中学校部活動体験
- 中学生による職場体験
(両小学校へリトルティーチャーとして学習支援など)
- 小学校運動会での中学生ボランティア
- 小・中学校の特別支援学級で合同調理や合同校外学習
- 小学校同士の交流、移動教室合同実施

一貫性のある指導

- 3校の教員による授業改善などの合同研究会を実施
- 中学校教員の両小学校への乗り入れ授業
- 生活指導上の決まりや指導方法等の情報交換
- 小・中学校の授業や行事の相互参観による児童生徒理解

大学との連携

- 小学校の作品展で大学生の作品を展示
- 小・中学校の文化発表会の準備を大学生が指導
- 中学校の放課後勉強会に学生ボランティアが参加

交流スペースの
設置等による
異学年交流の
更なる活性化

教員の連携強化に
よる教育活動の充実

継続・発展

区これまでの取組を踏まえ、
旭丘・小竹地域の特性を活かした
魅力ある学校づくりを検討してまいります

4 新校の開校に向けた検討状況等（施設面）

現状の施設配置



これまでの推進委員会や地域説明会等の主な意見

《9年間を見通した教育活動》

様々な学年の組み合わせによる学校行事や交流活動の実施が可能となるような施設

《特別支援学級との交流》

通常学級の子どもたちと共に学び、交流できるよう配慮

《安全面への配慮》

小学生と中学生の体格差等を考慮

《防災機能の確保》

災害時の地域における避難拠点としての役割

《施設の複合化》

学校敷地内における子どもたちの放課後の居場所確保

地域や学校からいただいたご意見等を踏まえ、現在、設計を実施

4 新校の開校に向けた検討状況等（施設面）

新校の施設配置イメージ



建 物	配置の基本的な考え方
校 舎	<ul style="list-style-type: none">○ 9年間を見通した教育活動を可能とするため、北側敷地の校舎棟に全学年の普通教室を配置○ 特別支援学級は、普通学級との円滑な交流が可能となるよう、同じ校舎内に配置○ 北側と南側の建物をつなぐ渡り廊下の設置により、公道に出ることなく両敷地間の安全な移動を確保
校 庭 体育館	<ul style="list-style-type: none">○ 児童・生徒の安全性に配慮し、校庭および体育館を南北の敷地にそれぞれ分けて配置○ 災害時の避難拠点としての役割を考慮し、両体育館を建物の1階に配置
公共施設	<ul style="list-style-type: none">○ 校舎棟内にねりっこクラブを設置○ 街かどケアカフェ、地域包括支援センターおよび児童館は、アクセスの良い北側敷地の西側に配置

※ 上記の施設配置は、検討段階のものであり、今後変更となる場合があります。

5 新校の開校に向けた検討状況等（教育活動）

保護者や地域・学校関係者とともに、開校に向けて、順次、新校の教育活動について検討を開始

9年間を見越した教育活動

《発達段階に応じた教育活動》

- 施設一体型の利点を活かして、発達段階に応じた柔軟な教育活動が可能

〈参考：施設一体型小中一貫教育校（大泉桜学園）での事例〉

◆ 小学校の卒業式、中学校の入学式を開催

- 中学校の入学式は小学1年生の入学式と合同で実施

◆ クラブ活動等における6年生の意識醸成

- クラブ活動や移動教室・他校との連合行事等の様々な機会を捉え、6年生がリーダーシップを發揮できるような機会を創出

※ 大泉桜学園では運動会や委員会活動は中学校と合同



《1年生と7年生の合同入学式》

クラブ活動：小学4～6年生を対象に、特別活動として授業時間の中で実施する活動

5 新校の開校に向けた検討状況等（教育活動）

〈参考：施設一体型小中一貫教育校（大泉桜学園）での事例〉

◆ 学習指導

- 5年生からの50分授業や一部教科担任制を行っているが、各学年の学習指導要領に基づき、学年を先取りした授業や指導は実施していない
- ※ 小中一貫教育校でも、中学校選択制度により他の小学校からの新入生の受け入れや在校生の他の中学校への入学希望は可能

◆ 5年生からの部活動参加

- 5年生から、希望者については中学校の部活動に部分的に参加
(例年、5年生は2～3割、6年生は6割程度が参加)
- 小学生と中学生の体格や体力差、またルールなどの違いを踏まえ、練習メニューや参加時間を分けて参加

5 新校の開校に向けた検討状況等（教育活動）

《幅広い異学年集団による活動》

- 様々な学年の組み合わせによる学校行事や交流活動の実施が可能

〈参考：施設一体型小中一貫教育校（大泉桜学園）での事例〉

◆ 1～9年生の合同行事



《運動会》



《桜祭（音楽会）》



《学習発表会（作品展覧会）》



《9年生を送る会》

5 新校の開校に向けた検討状況等（教育活動）

〈参考：施設一体型小中一貫教育校（大泉桜学園）での事例〉

◆ 異学年集団の行事



縦割り遠足



飯ごう炊さん



一斉下校訓練



開校記念集会



防災リーダー



交流給食

5 新校の開校に向けた検討状況等（教育活動）

その他

《地域の特性を活かした学校づくり》

◆ 3つの大学が近隣立地



◆ 地域のお祭りなど

<江古田音楽祭>

江古田にゆかりのあるプロやアマチュア、学生など様々な演奏家が江古田各所でコンサート等を開催

<桜台地区祭>

納涼屋台の出店や相撲大会を実施

《標準服》

○ 今後、保護者や地域等からご意見を伺いながら導入の有無・運用等あり方について検討

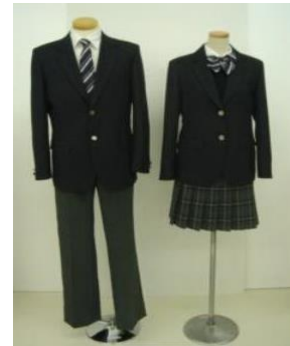
<参考：施設一体型小中一貫教育校（大泉桜学園）での事例>

保護者、教員等で検討し、段階的に導入

- 1～4年生までは任意
- 5年生からは着用を推奨
- ※ 5・6年生は8割以上が標準服を着用、入学式等の式典時にはほぼ全員が着用



1～4年生



5～9年生